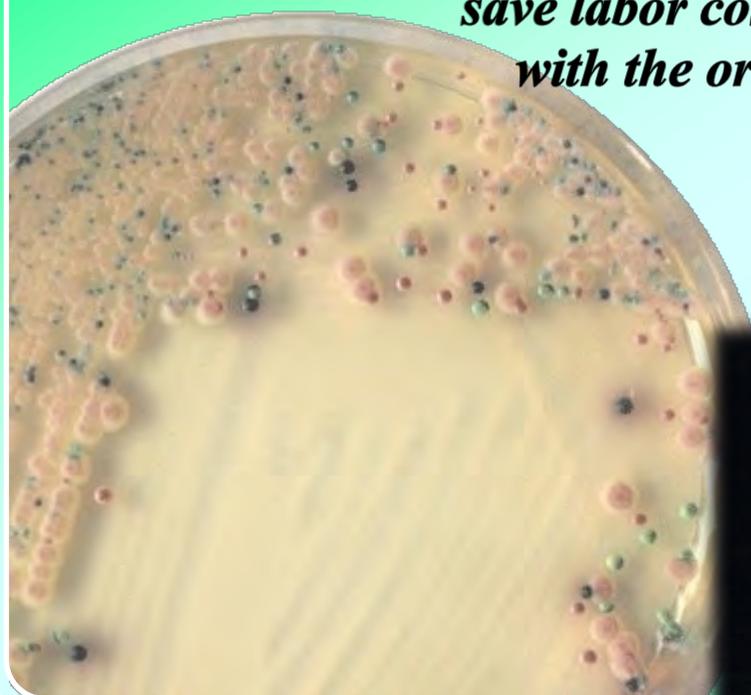


主要カンジダ種のスクリーニング用  
クロモアガーカンジダ



*Save time  
save labor costs  
with the original CHROMagar*



培養条件: 37°C, 48時間

主要カンジダ属菌種鑑別用選択分離培地

特長

- ★ 培地上のコロニーの色により、主要なカンジダ属の推定が可能です。
- ★ 検査の迅速化・省力化が図れます。
- ★ バックグラウンドが透明なので、コロニーの色が明瞭に観察できます。



Kanto Kagaku

# クロモアガーカンジダは特異性の高い特殊酵素基質によって、カンジダ属の主要菌種を色分けします。

## 特 長

- 培地上のコロニーの色により、主要なカンジダ属の推定が可能です。
- 分離培地上でコロニーの鑑別をすることで、検査の迅速化・省力化が図れます。
- バックグラウンドが透明なので、コロニーの色が明瞭に観察できます。
- コロニーの着色により、小さなコロニーを見落とす危険性が少なくなります。

## 組 成

ペプトン・・・・・・・・・・10.2g  
特殊酵素基質混合物・・・・22g  
クロラムフェニコール・・・・0.5g  
寒天・・・・・・・・・・15g  
pH 6.1±0.2

## 調製法

- 1) 本品1本を精製水に懸濁し、寒天が膨潤するまでゆっくり混和します。
- 2) 煮沸するまでかき混ぜながら加熱し、培地を完全に溶解します。
- 3) 静かに滅菌シャーレや試験管に分注して、固めます。

注) 高圧蒸気滅菌はしないで下さい。

## 有用性

- 1) 培地上のコロニーの色により、カンジダ属をはじめとする病原性酵母様真菌の菌種の推定が可能で、生化学的同定結果との一致率が高いことが報告されています。
- 2) 分離段階で鑑別することにより、従来の方法に比べ2～3日短縮できます。
- 3) コロニーの着色により、小さなコロニーを見落とす危険性が少なくなり、混合感染の検出頻度が高くなります。
- 4) 早期に菌種の推定ができることにより、適した投薬方針を早期に定められます。

## 判定方法

菌 名	典型的なコロニー所見
<i>C. albicans</i>	緑色のスムーズ型コロニー
<i>C. tropicalis</i>	中心部が濃青色のスムーズ型コロニーで周囲にハローを形成
<i>C. krusei</i>	ピンク色でラフ型コロニー

検体は平板上に画線塗抹して、30～37℃で48時間培養してください。

	製品番号	製 品 名	包装単位
粉末培地	08400-67	クロモアガー カンジダ	1L用
生培地	72003	クロモアガー カンジダ生培地	10枚
生培地	72014	クロモアガー カンジダ生培地	10枚×2包
生培地	72004	クロモアガー カンジダ生培地	10枚×10包
分画培地	72027	クロモアガー カンジダ/ポテトデキストロース分画培地	10枚×2包
斜面培地	72009	クロモスラント カンジダカラー	10本

本品はCHROMagar社（仏）の粉末を使用しています。  
CHROMagarはDr.Rambachの登録商標です。



関東化学株式会社  
試薬事業本部 試薬部

103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 (03) 6214-1090  
541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目3番11号 (06) 6231-1672  
812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目22番3号 (092) 414-9361  
<< <https://www.kanto.co.jp> >>